

お正月の臨時列車



お正月の恒例行事といえば初詣。実は初詣専用列車が運転されていたというのは意外と知られていません。

岡山県内から発着をしていた列車はたくさんありますが、つい最近まで残っていたものに、出雲大社へ向かう”大社臨”といわれるのと、金比羅宮に向かう”こんぴら初日の出号”というのがありました。大社臨は団体専用列車だったため、乗車することはかないませんでした。こんぴら初日の出号は一般向けの臨時列車であったため普通に乗車することができました。

今回は、そのこんぴら初日の出号最後の運転となった、2010年1月1日を振り返ってみようと思います。



茶屋町駅：6時10分

こんぴら初日の出号は岡山駅始発ですが、時間の関係から茶屋町駅から乗車します。みどりの窓口で指定席グリーン券を発券してもらいホームでひたすら寒さに耐えながら待ちます。電光掲示の時刻表示はなぜか6時23分発。



茶屋町駅：6時22分

さっそく乗車します。こんぴら初日の出号に使用されていた車両は岡山電車区所属の”ゆめじ”です。JR西日本に所属していたジョイフルトレイン(団体/臨時列車)の中では唯一の電車でしたが、今では廃車されて見ることはできません。

児島駅：6時35分

児島駅でなんと30分近く停車します。これには1つ理由が。なんとこの列車、瀬戸大橋を渡っている間に初日の出を迎えることができるようなダイヤになっていました。この間に後続の特急や快速に抜かれていきます。実は当日、車両故障のために暖房が効かない状態。車内気温と外気温がほぼ同じ・・・ということで、懐炉の配布がありました。

多度津駅：

ここでまた17分ほど止まります。またまた後続の特急や快速に抜かれていきます。

金蔵寺駅：

ここで最後の運転停車です。対向列車とすれ違います。

善通寺駅：8時10分

善通寺への初詣客のためにここで停車します。降りるお客はごくわずかです。

琴平駅：8時13分

終点に到着です。茶屋町駅から約2時間の小旅行はこれで終わりです。



今回のような特殊な車両を使った初詣用の臨時列車というのは今はありませんが、実は、普通の車両を使った臨時列車は今でも運転されています。それは、吉備線で運転される最上稲荷/吉備津彦神社/吉備津神社への初詣客のための列車です。車で初詣も良いですが、渋滞を気にしなくてもいい鉄道を使った初詣もいかがですか？